

保護者の皆さんへ



オープンジョブでの座談会

就職活動の際、自分が何をしたいか決めている学生は少ないといわれています。企業が自分に合うか、社員を大切にしているか、社員のスキルや経験が自分と合っているか、などを探りたいことがないのにも大丈夫だろうかと思いませんか。

親だからこそ分かる子の良さ

就職活動をする子どもを持つ皆さんにも、地域にどのような企業があるのか、どのようなことをしているのか、関心を持ってほしいと思います。津山に住んでいるからといって、地域の企業に詳しいかという点、実はあまり知らないのが実情です。

例えば、スーパーマーケットなどの小売業といえば、店舗販売という印象がありませんか。小売業といっても、企画、商品開発、営業、品質検査など内容は多岐にわたり、それぞれの職場で生かせる特技や個性はさまざまです。

地域企業に興味を持って！

「津山に帰って来ないの?」「就職活動はどうなっているの?」など、親としては気になることだと思います。しかし、就職は自分自身で決めることが重要です。子ども自身が知らなかった自分に気付くような助言で後押ししていきたくいですね。



今、多くの企業は、必要とする能力や才能を社員から引き出し、人を育てることを重視しています。市が実施するインターンシップでは、「自分を知る」ために「他人から見た自分が知らない自分」を学生同士で探し合います。「自分を知る」ことは、自分に合う企業を見付ける鍵になります。



オープンジョブでの体験

津山の最新の就活情報はこちらから

ホームページ 津山市就活情報局

https://life-tsuyama.jp/work/new_graduates/

フェイスブック 津山市就活情報発信室

<https://www.facebook.com/lifetsuyama/>

LINE 津山広域事務組合

LINEアプリのメニュー

の「友だち追加」で「QRコード」を選択し、右のQRコードを読み取る



※『広報津山』でもさまざまな情報をお知らせしています



Uターン推進キャラクター「ゆーたん」

親たちの知らない就活の世界 保護者向け

これから就職活動を行う子どもを持つ保護者が対象のセミナーです。最近の就活事情や、子どもとの関わり方について解説します。

とき 2月29日(土)午後1時30分～3時30分

ところ ザ ヒルズハウス津山 (大田)

圖仕事・移住支援室 ☎24-3633

令和3年3月卒業予定の新規学卒者向け就活イベント

多くの地域企業に出会える機会です

とき ①2月20日(木)午前・午後(2部制)、②3月7日(土)午後1時～3時30分

ところ ①岡山第1セントラルビル(岡山市)、②津山圏域雇用労働センター

参加予定企業 ①30社、②60社

対象 令和3年3月卒業予定の大学・大学院・短期大学・専門学校・高等専門学校などの学生

参加費 無料

※県外から参加する津山圏域の出身者に、交通費を助成しています(上限20,000円)。詳しくは、お問い合わせください

就活学生登録者 募集中

就活学生登録者(高校生の就職を除く)に県北地域の企業を掲載した冊子『つやま広域企業ガイド』の配布や情報提供などを行っています。圖津山広域事務組合(津山圏域雇用労働センター内) ☎24-3633

就活支援-学生のための「つやまオープンジョブ」に参加した企業の声



採用担当の高畑あゆみさん・澤成典さん

は、社員がお客様と直接触れ合う雰囲気を感じていました。店内で声を掛けられたときにいつでも対応できるように身

株式会社ナンバ ホームセンターは、利用する機会が少ない学生にとって、イメージしにくい職種だと思っています。わたしたちは、単に物を売るのはなく、接客を通して、地域の皆さんの住まいや暮らしを良くしていくことを目標としています。オープンジョブでは、仕事の原点となるさまざまな接客の工夫を感じてもらおうと体験を準備しました。まず、お客様が必要としている物が1店舗でそろえるようにしていることを体感してもらおうと、店に無いと思う商品を店内で探してもらいました。学生は、取り扱い品目の多さに驚いていました。電動工具を使ったものづくりで

接客の様子を会社がそのもの

に付けている7つ道具に興味津々でした。体験は、若手社員も加わり、座談会と合わせて話が弾みました。

会社の雰囲気は、そのまま普段の接客に表れるかと思っています。人と話すことや人の役に立つことが好きという人に向いている仕事だと思えます。どんな仕事か気になったら、オープンジョブだけでなく、ぜひ店に来てください。

会社の名前だけでは伝わらない

デジタル総合印刷株式会社

社名だけ見ると印刷機が稼働している工場と思われがちですが、印刷物の作成のほか、IT(情報技術)系の開発など、情報発信に関する業務を幅広く行っています。オープンジョブでは、名前だけでは伝わらない会社の技術を知ってもらおうと、VR(仮想現実)技術を使



VR・MR体験



DIY(日曜大工)体験

った高所体験や、MR(複合現実)技術を使ったお化け屋敷体験をしてもらいました。学生にとって親しみやすい入社1～2年目の社員が、体験内容の考案や座談会に携わりました。

参加した若手社員の声

会社の技術を分かりやすく紹介する方法を考え、説明することは、お客様と接する機会が少ないわたしたちにとって良い経験でした。座談会は、和やかな雰囲気の中で、会社の様子や社人になってからの生活スタイルなどを話しました。学生時代にしておいた方が良かったことや、学生から社人になって感じた変化なども質問されました。学校では役に立つかどうか分からなかったことが、会社に入り思わぬ場面で必要と感じた経験から、広い視野で勉強しておいた方がよいという話や、取得しておきたい資格の話などをしました。



若手社員の神田大輝さん・平口駿太さん・多村爽さん

参加した学生の声

- 津山に長年住んでいるのに、どんな企業があるか知らなかった
- 社員の生の声を聞くことができ、楽しい時間を過ごせた
- 会社の良い雰囲気や、仕事内容がよく分かった
- 社員の自社製品への自信が伝わった
- 思っていた以上にさまざまな部署があり、店舗だけがすべてでないことが分かった
- 体験を通じて、自分に適している仕事について考えることができた

Q) 地域企業への関心は高まりましたか? (学生のためのつやまオープンジョブアンケート結果)

